

## 留学報告書

国際文化学科 21014114 三宅夢華

私は8月31日から12月25日までの約4か月の間、韓国のフェギというところにあるキョンヒ大学の国際教育院で留学をしてきました。

私はこの交換留学に語学力を向上させることはもちろんですが、自立心を身に着けたいという目標を持って、参加しようと思いました。

日本で暮らしていた時も授業や音楽を通して毎日のように韓国語には触れていましたが、実際韓国での生活に慣れるまでは母国語ではない言葉しか目に入ってこず、耳に入ってこない場所で生活をするということは想像していたよりはるかに大変なことでした。

しかし慣れていくうちにその生活がいかに有意義で楽しくてどれだけ貴重な時間なのかを気づくことが出来ました。

留学生にはトウミというサポートをしてくれる韓国人の学生が基本的に一人ずつつきます。私のトウミは学校から離れたところに住んでいて結婚している人だったので全く連絡も来ずに他の人のようにトウミとどこかに出かけるといったことは一度もありませんでした。だからほかの人たちがすごく羨ましかったです。そして私が留学生活を通して唯一感じた残念な点でした。トウミともっと頻繁に会い話すことが出来たらよかったのになと思います。

大学では朝の9時から13時まで色んな国の人達と一緒に文法などの韓国語の授業をしました。最初の3週間は私のクラスには日本人しかいなかったのも楽しいけど日本にいるときとあんまり違いがない時間でした。

その3週間が終わり次の秋学期が始まりたくさんの国の人と関わりを持てるようになってから本当に充実した授業を受けることが出来たと思います。クラスには中国、台湾、サウジアラビア、スウェーデンなどの国の人たちがいました。最初は文化も全く違う人たちと過ごすことが一緒に授業を受けるだけでも大変でした。しかし慣れていくうちにお互いに文化の以外を受け入れとても仲のいいクラスになりました。授業後もみんなで一緒にご飯を食べに行ったりしました。

私たち留学生は現地学習というものがあり9月から韓国の色々な所に行かせてもらいましたが、秋学期の時に行った現地学習が一番楽しかったです。ソラクサンという山に行きみんなで同じホテルに泊まりゲームをしてお菓子を食べてたくさん話して写真もたくさん撮って修学旅行のような楽しい時間でした。この現地学習を通してクラスの人たちとよりいっそう仲良くなれたと思います。

私たちのクラスは先生たちに言われるくらい本当に仲のいいクラスでした。だからその分最後の修了式の日みんなと別れるのがとても辛かったです。

韓国にまだ残って一生懸命夢に向かって勉強をしている友人たち、そして自分の国に帰りまた新たな目標に向かって頑張っている人たちもいますが、またみんなに会うことが出来たらいいなと思っています。たくさんの国の人たちと触れ合いコミュニケーション力や積極性もついたし貴重な経験をすることが出来ました。

テストは4か月間合計で3回ありましたが、問題文はもちろん全部韓国語なので初めて受けるときはとても緊張していました。

しかし授業中に分からないことがあると先生たちは納得するまでとても丁寧に教えてくれたり、難しいところは時間を多くかけて説明してくれたり、いつも私たちがわからないことがないようにしてくれていました。

クラスの人とペアになり自分たちで会話を考えて発表するというテストは個人的には一番難しかったのですが、うまくできると達成感をとても得られるものでした。お互いに完璧に韓国語を話せるわけではないのに努力をして頑張ることは楽しかったです。

先生たちが毎日丁寧に授業をしてくださって、私のクラスはとても雰囲気もよく質問もしやすかったので、最後のリスニングのテストでは100点を取ることが出来ました。このことが個人的にはとても嬉しかったです。

私たち新潟国際情報大学の生徒は午後も14時から16時まで文化の授業がありました。

午後の授業では、韓国の音楽、映画、伝統的な遊び、そして歴史などを勉強しました。

月曜日のセミナーの授業にはドラマにも出演したことのある有名なかたが私たちの為に特別に講義をしてくださいました。その授業では自分たちで主題を決め情報も集め韓国語でプレゼンテーションをしたのですが、とてもいい経験になりました。

音楽の授業は先生がお勧めする曲や自分たちの好きな韓国の曲を発表し歌詞を聞き取り意味などを調べて最後にはみんなで歌うという内容でした。何曲もやっていくうちにどんどん聞き取れる単語が増え歌詞の意味を理解できるようになるのが実感できる授業でした。私はもともと韓国の歌が好きなので個人的に一番楽しく好きな授業でした。

映画の授業では有名な映画をたくさん見ることが出来ました。日本語の字幕無しでたくさん映画を見たので韓国語の実力がとてもついたと思います。

他の授業でもたくさん有名な方々が私たち国情生の為に来てくださって興味深い話をしてくださったので全部が記憶に残っています。

韓国の食べ物は最初のうちは辛いのがなれなくてお店の方に何回もお水をもらいながら食べたりしていて大変でした。日本で食べる韓国料理よりおいしかったです。慣れてからはどんなものでも食べることが出来るようになったので良かったです。

韓国に行ったら絶対に食べたいと思っていたパッピンスやボンボンというデザートはとてもおいしかったです。

学校の中にある食堂はラーメンが約 150 円で食べることが出来て、定食などは量が多いにもかかわらずほとんどが 500 円以下で食べることが出来ました。サムギョプサルなどの普通のご飯屋さんも日本より安くて、日本との値段の差に驚きました。

食べ物だけではなく服や電車代、そして給料についても韓国は日本より安かったです。

学校が終わった後や休みの日は、クラスの友人たちとご飯を食べに行ったり国際情報大学の友人たちと色んなところに遊びに行ったりして過ごしました。地下鉄もバスも日本より値段が安かったのが本当にいろいろなところに行くことが出来ました。服もとても安かったのが韓国でたくさん買うことが出来ました。

私も周りの友人たちは K-POP が好きな子が多かったので、学校が無い日には一緒にコンサートを観に行ったり音楽番組の観覧に行ったりしていました。

日本よりも音楽番組が多く、また無料のコンサートなども多いので、たくさん行くことができたのでうれしかったです。そこで同じ趣味を持つ人たちにも出会うことが出来て、いい経験をすることが出来ました。

学校で勉強している韓国語と同年代の人たちと話す韓国語には違う部分があり、同年代の人たちと話す韓国語はあまり慣れていないので難しかったのですが、この経験のおかげでよりナチュラルな韓国語が話せるようになったと思っています。

4 か月間毎日一緒に生活をしていて困ったことがあるときはお互いに助け合って、私が辛かった時には励ましてくれて笑わせてくれた友人たちにはとても感謝しています。

私たち国情生を担当してくれていたキョンヒ大学の先生たちは、私たちのことを去年より元気で積極的に話すからいいねと言ってくれていました。みんながそんな雰囲気なので尚更楽しく過ごすことが出来たんじゃないかなと思います。

毎日ずっと一緒にいたのでだんだん嫌なところが見えてくる時もありましたがそれよりも楽しかったという気持ちが大きいです。一緒に買い物に行き料理を作ったり、好きな番組を見たり、寄宿舎で誕生日パーティーをしたり、みんなで質問しあいながらテスト勉強をずっとしていたことは、日本にいたら絶対にすることが出来なかったことだと思います。

日本で授業している時にはそんなに話さなかった人たちともこの留学を通して仲良くなることが出来ました。

私たちは学校の近くにある寄宿舎に住んでいたのですが、そこのおじさんやおばさんは私たちにとても優しくかったです。寄宿舎の前にあるコンビニの店員さんも私たちが韓国人じゃないということを分かっていたので留学を始めたころはゆっくり値段を言ってくれたのでとても助かりました。食堂のおばさんたちも私たちが理解できるようにゆっくりと話してくれました。

電車の中で私たちが日本語で会話をしていると日本語がわかる方たちは話しかけてきてくれました。

どこに行っても感じたのは本当に韓国人の方たちは優しいということです。

歴史問題などもあるので韓国に行く前は正直不安なことがとても多かったです。しかし授業をしてくださった先生たちはもちろんですが、韓国で出会った韓国人の方に気分が悪くなるような言葉を言われることは一回もありませんでした。今まで大きな勘違いをしていたのだなど。恥ずかしくなりました。

電車の中でも混んでいて立っていると席を譲ってくれる人もたくさんいて、とても優しい国だなと思うことがたくさんありました。

このような交換留学を作ってくれた国際情報大学の先生方、優しく私たちを受け入れてくれたキョンヒ大学の先生方、私たちの面倒をみてくれて何かあるといつも助けてくれた先生方、そしてお金がたくさんかかったにも関わらず文句を一言も言わずにお帰りと言ってくれた両親のおかげでこのような貴重な時間を過ごすことが出来ました。

この交換留学を通して人との関わりがいかに大切なのかを改めて気づくことができました。そして目標としていた語学力の向上も自立心を身に着けることも達成することができたと思っています。自分から積極的に行動することがいかに大切なのかを身をもって実感できました。

授業である先生が「どんな嫌なことでもいつかは全部がよい経験になる」と言っていたのですが私はこの言葉がとても心に残っています。なのでこの言葉を忘れずに、これからもこの4か月間の留学の経験を生かして何事も積極的に取り組みながら毎日を過ごしていきたいです。そしてまた機会があったらまた留学したいです。